

事業所名		放課後等デイサービス　ウノおおた				支援プログラム（様式）		作成日		2026 年		2 月		1 日							
法人（事業所）理念		子どもたちが安心して、心身ともに健康に成長できる居場所となる。																			
支援方針		一人ひとりの心の動きに添いながら、様々なことに挑戦し成功体験を積み重ねることで、「自主自立」「生きる力」を身に付ける支援を全力で行う。																			
営業時間				9 時				分から		18 時				分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	放課後の居場所となり、心身ともに発散できるように配慮することで、健康に過ごせるようにサポートしていく。 利用が楽しい時間となるように、子ども自身が通所することに対し目的意識を持って生活リズムを把握できるようにしていく。																			
	運動・感覚	遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、運動感覚を養う。 身体能力の向上や運動機能の発達を促し、日常生活に必要な動作の基本を身に付ける。 手先の器用さやバランス感覚を育成する。																			
	認知・行動	認知や行動の手掛かりとなる概念を形成する支援を行う。 やってみて、失敗から学びながら試行錯誤する課程を十分経験できるように配慮し、自分で気づき積極的に取り組むことのできる能動性を育んでいく。																			
	言語 コミュニケーション	自分の思いが伝わる経験が多くできるような支援を行い、思いを表現できるようにする。 遊びや活動を通して多くの言い方があることを知り、使えるようになる。 個別活動や宿題を通して、読み書き能力の向上のための支援を行う。																			
	人間関係 社会性	他者とのやり取りや社会的な場面でルールやマナーを学び、社会性を高める。 学校でも家庭でもない場所で心身のレスパイトを行い、伸び伸びと自分らしく過ごせるような時間を提供する。																			
家族支援		家族からの相談や悩みに対しての助言を行う。 困りごとや気付きをいつでも気軽に話せる環境作りを行う。								移行支援		学校との連携を密に行い、特に進級・進学の際に必要な情報を共有して行 きながら、本人・家族が安心して新たな環境に進めるように関わる。									
地域支援・地域連携		他の福祉サービスや学校などと必要に応じて連携を取っていく。 地域の児童館等と交流を図ることで、社会のルールや必要な事を経験したり学習 できるようにする。								職員の質の向上		発達の特性と、支援の方法について研修等で学び専門性を高めたり、 事業所内での勉強会や事例検討会を実施する。									
主な行事等		季節に合わせた行事(お花見・夏祭り・ハロウィンパーティ・クリスマスパーティ・お正月遊び・節分) 調理体験、買い物体験、避難訓練・不審者対応訓練の実施、交通安全指導																			